

サービスの具体例 1

＜両親の自宅を売却する際の適正な価格を算定＞

大阪出身のAさんは、30年前に就職で上京して以来東京で暮らすサラリーマンです。先日、郷里の父親が脳出血で倒れ、完全介護が必要な状態になりました。Aさんは、高齢の母親の安心・安全も考え、父親を特別養護老人ホーム(特養)に、母親を高齢者専用賃貸住宅(高専賃)に入居させることにしたため、家賃がダブルでかかるようになりました。そこで、当面の生活資金を捻出するため、両親の共有名義の自宅を売却することにし、とりあえず町の不動産業者にどのぐらいで売れそうか聞いてみましたが…

最近、近くで類似の戸建住宅が売れたときの価格を参考にすると、〇〇万円ぐらいでしょうか。

不動産業者は〇〇万円というけど、あまりにざっくりとした値づけで、どうも納得がいかないな～

いちど専門家の不動産鑑定士にきっちりとした値段を出してもらった方がよさそうだぞ！



東京在住のAさん

新たに同じような建物を建てることを想定したり、賃貸を想定して得られる賃料から価格を求めたり、色々な観点から総合的に判断すると、△△万円が適正な価格ですね。評価の詳細な根拠も含めて書面にしてお渡しますので、売却の際の参考になさってください。

なるほど、やっぱり専門家の評価は違うね。これで安心して売却交渉に臨めるぞ！

売却



両親の自宅

特養に入居



高専賃に入居



大阪の両親



不動産のホームドクター
不動産鑑定士



両親の住む町の
不動産業者